

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	立正大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	リッショウダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	仏教学部、文学部、経済学部、経営学部、法学部、心理学部、社会福祉学部、地球環境科学部
	担当教職員名・役職	所正文(キャリアサポートセンター長)北島祐紀、和田真朱乃、山田典子
受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	293	
受入企業等数	162	
受入企業等名	イクスピアリ、板橋中央総合病院、SMBC日興証券、熊谷市役所、グランドニッコー東京、コナカ、品川区役所、西武ライオンズ、千葉トヨペット、東武鉄道、富士通、毎日新聞社、三井住友銀行、ミニミニ、メモリアルアートの大野屋、りそな銀行 など	
インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ 5.他県をまたぐ広域インターンシップ 6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	グループワークやディスカッションが中心で課題解決等を行うタイプや、営業同行・書類作成・会議参加等、社員の方々と一緒に行動し、仕事を体験するタイプ、1日ごともしくは時間ごとに複数の部署を回りながら会社・仕事を理解するタイプ、研修等のもと、実際の現場で仕事に取り組むタイプなどがある。	
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次～3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	正課のインターンシップに参加するためには次の要件を満たすことが必要。・原則として2・3年生に在籍していること・所定の期日までに各種手続きを完了できること・事前事後授業及び実習報告会等へ出席できること・各種書類及び実習日誌・レポートの提出期限を厳守できること・キャリアサポートセンターや実習先との連絡が常時取れること・関連授業科目を履修完了していること	
3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	

要素③	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップに参加する意義や目的をガイダンスで周知している。社会人に必要な心構えやマナーを学び、ワークを通して身につけている。実習先企業について、業務内容等を調べ、プレゼンシートを作成し発表を行っている。実習における目標達成に向けた行動計画を個人・グループワークで策定している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	日々の実習内容や学びを日誌へ記入し、指導担当社員の方からコメントをいただいている。実習で体験した業界や興味のある業界だけではなく、業界・業種に捉われず幅広く、お互いが経験してきた体験・学びをグループワークを中心に共有している。学内にて受入企業・団体の担当者をお招きし、実習で学んだことの成果発表を行っている。
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	実習期間中に教職員が実習先に訪問し、学生・企業担当者と面談を行い、インターンシップの情報共有を行っている。	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	社会・業界・仕事について実習前に持っている意識等を洗い出し、実習期間終了後、実習後の意識等の変化を整理し、グループで共有を行い、インターンシップ実施前後の意識・行動の変容を成果発表している。また実習前後に社会人基礎力を自己評価させ、変化を確認している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5日間～21日間程度
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	5日間以上の実習期間を設定している。実習内容等により連続した実習期間を設定している企業もあれば、2日間実施後、期間をあけて3日間実施するなど、計5日間以上となるように設定していることもある。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業担当者が事前授業で社会人に必要なマナー等の講義をしている。また実習前に実習先企業と学生とで顔合わせを行い、実習プログラムの意義・内容を確認している。成果発表会では、発表内容・実習中の取組について企業からフィードバックを受けている。

	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	「別途提出済み」 http://www.ris.ac.jp/employment_career_support/introduction_of_program/career_formation/internship.html
問い合わせ先	大学等名	立正大学
	担当部署名	キャリアサポートセンター
	担当者役職名	
	担当者氏名	北島祐紀、和田真朱乃、山田典子
	電話番号	03-3492-6697
	メールアドレス	kitajima@ris.ac.jp